内部副管用中間スラブ標準図(1) 名 称 副管径が150mm~300mm 中間スラブ詳細図 S=1/30 (単位:mm) ジョイント詳細 S=1/10 端部断面詳細図 S=1/10 昇降口のグレーチングは 反射板付のものとする ϕ 1 4 8 0 ± 3 2 1 2 5/// 本体FRPグレーチ グレーチング受け L-50×50×6t ss41 FRPオーバーレイ L=250 (計6ケ所) M 1 2 長ボルト、ナット M8チタンボルト FRPグレーチング L=200. SUS304 @=240ワッシャー (ポリプロピレン) 副管穴 φ 150, φ 200, φ 250, φ 300 アンカーボルト 【内部副管用中間スラブの設置基準】 1. 本管の管底がインバート天端から2. 0m程度以上 φ1480 の高さにある場合、原則、維持管理用として中間ス 受枠 (PL-2. 3 t ss FRPオーパーレイ) ラブを設けるものとする。 φ810 2. 鉄蓋~中間スラブ~インバートの各間隔は5mを超 えてはいけない、これを超える場合さらに中間スラ φ750 ブを設けるものとする。 FRPグレーチング <注>副管穴は現場にて FRPグレーチング 穴あけする。 3. 中間スラブを設ける場合、仕切られた上下の室内は 補強材受詳細図 S=1/10 持管理の作業性を考慮し、高さ方向に最低2.0m の空間を設けるものとする。 (A - A)補強材受SS材6t鋼板入りFRPオーバーレイ 4. 中間スラブを設ける場合、マンホール径は1. 5m (2ケ所) 以上とし、昇降口の径は75cmとする。 また、中間スラブ、昇降口の材質等は、原則として FRP製で格子状とし、耐荷重3.6KN/m以上 とする。 M12長ボルト、ナット SUS304 L=200 ワッシャー付 (ポリプロピレン)

補強材□-52×32×5t FRP

5. 中間スラブの昇降口の設置は鉄蓋と同一方向とする。

6. グレーチング蓋は、反射板付のものとする。